

<p>10/13(金) 公営 コレクティブ ハウジングの 入居から現在、 そして今後の展開</p> <p>石東直子 石東・都市環境研究室主宰、 コレクティブ ハウジング事業推進 応援団長</p>	<p>阪神・淡路大震災後の復興公営住宅に全国で初めて事業化された 公営コレクティブ ハウジング (10 地区 341 戸) その入居前の協同居住の学習ワークショップから 現在までの継続した居住サポートを通じて、 居住状況や課題、そして今後の展開について報告いたします。</p> <p>大阪市立大学生活科学部住居学科卒業、神戸大学大学院修士課程 (都市 計画専攻) 修了。(株)市浦・都市開発建築コンサルタンツ (現市浦ハ ウジング & プランニング) 等に勤務後、1984 ~ 86 年 中国天津大学大学院 と華中理工大学大学院で都市・住宅環境整備等の講義をする。1986 年 石 東・都市環境研究室を開設、現在に至る。主著に「好きやねん中国 わ たしの中国喜怒哀楽日記 / 学芸出版社 1987」「コレクティブ ハウジング ただいま奮闘中 / 学芸出版社 2001」など。</p>
<p>10/19(木) Roof - Architecture</p> <p>手塚貴晴 建築家 (株)手塚建築研究所</p> <p>(詳細は講演記録まで)</p>	<p>屋根は時を経ても変わらない建築の基本要素である。 屋根がある構造物は建築である。 屋根の在り方を変える事は建築の定義を変えることに等しい。 屋根と人の関係を探求しつつ新しい建築のパラダイムを模索して みたい。</p> <p>1964 東京生まれ。1987 武蔵工業大学卒業。1990 ペンシルバニア大学大 学院修了。1990 1994 リチャード・ロジャース・パートナーシップ・ロ ンドン勤務。1994 手塚建築研究所を手塚由比と共同設立。1996 2003 武蔵工業大学専任講師。2003 武蔵工業大学助教授。2005,06 ザルツブ ルグ・サマーアカデミー教授。2006UC バークレー客員教授 「副島病院」で通商産業大臣賞グッドデザイン賞金賞など、「屋根の家」 で第 18 回吉岡賞、JIA 新人賞など、エコビルド賞などを越後松之山「森 の学校」キョロロで受賞 他、受賞多数。</p>
<p>11/ 2(木) 建築のデザインと 都市のデザイン</p> <p>土田旭 都市計画プランナー、 都市デザイナー、 (株)都市環境研究所パートナー</p>	<p>建築家は敷地から出て街のデザイン、 街なみのデザインへチャレンジすべきだ。 勿論従来の建築デザインの手法とは異なった手法が必要だが、 その違いはどこに。</p> <p>1965 年東京大学大学院博士課程単位取得 / 専攻 都市計画・都市デザイ ン。同 大学都市工学科助手。1970(株)都市環境研究所設立。筑波研究学 園都市マスタープラン。播磨内陸都市圏マスタープラン。広島都心部マ スタープラン。横浜、川崎など都市デザイン基本調査。日立駅前地区都 市デザイン、浜松アクトシティ事業誘導・調整、幕張ベイタウン計画・ デザイン調整など。著書に『日本の都市空間』(共著、彰国社)『アー バンデザインの現代的展望』(共著、学芸出版社)『日本の街を美しく する-法制度・技術・職能を問いなおす』(監著、学芸出版社 2006.2) など。</p>
<p>11/30(木) 「ことばという空間。」</p> <p>石丸 美奈子 コピーライター</p> <p>(詳細は講演記録まで)</p>	<p>この街に、キャッチコピーを。 依頼を受ける度、重い腰を上げ、 街を歩く歴史を学ぶ人々と出会う。 時に行政マンや教授や建築家コンサルタントと ガチンコ勝負しつつ。 愛すべき九州ローカルシティの例をひきつつ語ります。</p> <p>ユニクロ、新日鉄、花キューピットなどの広告制作を行う。自治体や企 業のアドバイザーとしても活動中。エッセイでは、毎日新聞「北九州学 (楽)」連載など。現在、西日本新聞夕刊社会面にてコラム担当。趣味 は、旅&街歩き。1959 年生まれ。(財)北九州芸術文化振興財団理事。 NHK九州地方放送番組審議会委員。(株)北九州モノレール社外取締 役。北九州市指定管理者制度にかかわる推進会議委員。</p>